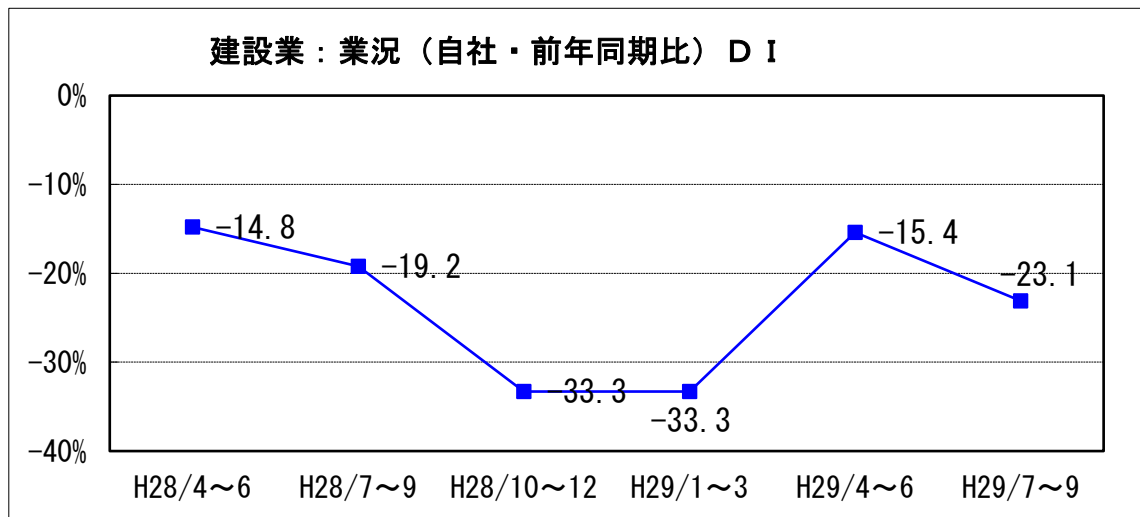


### 3. 建設業の動向

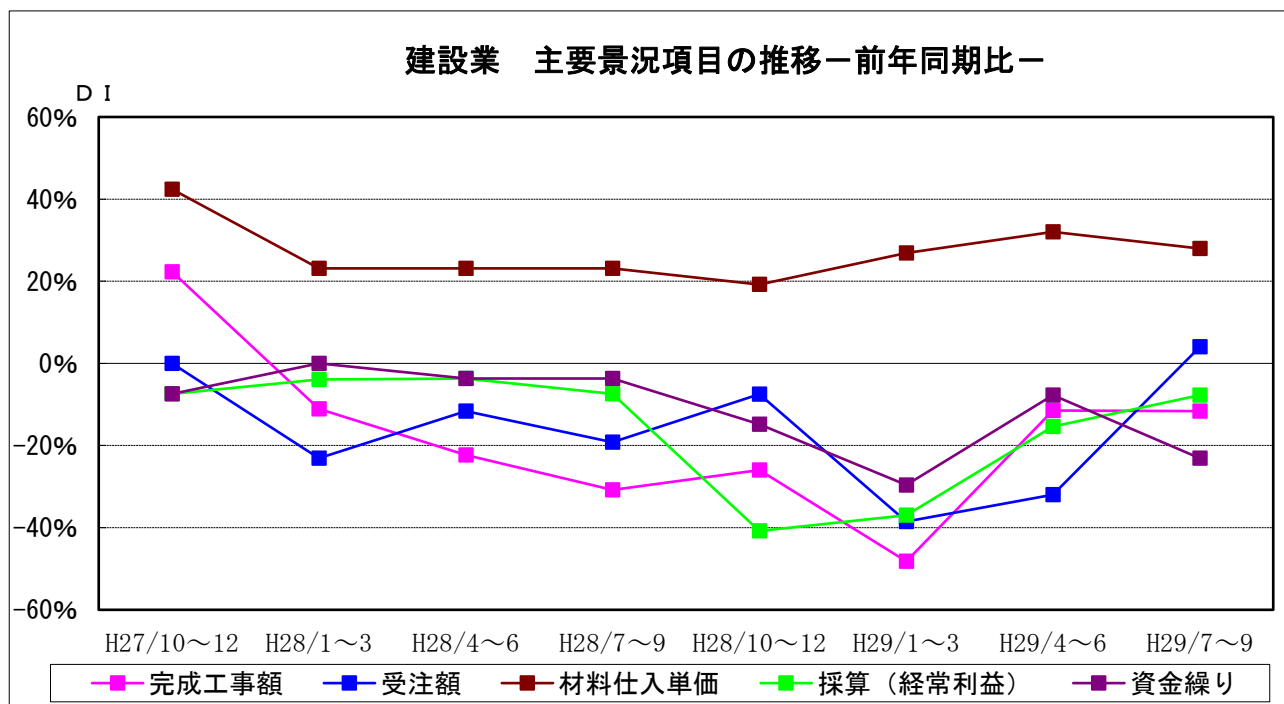
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲23.1。前期の▲15.4から7.7ポイントの下降となった。来期見通しは、▲23.1と横ばいの見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

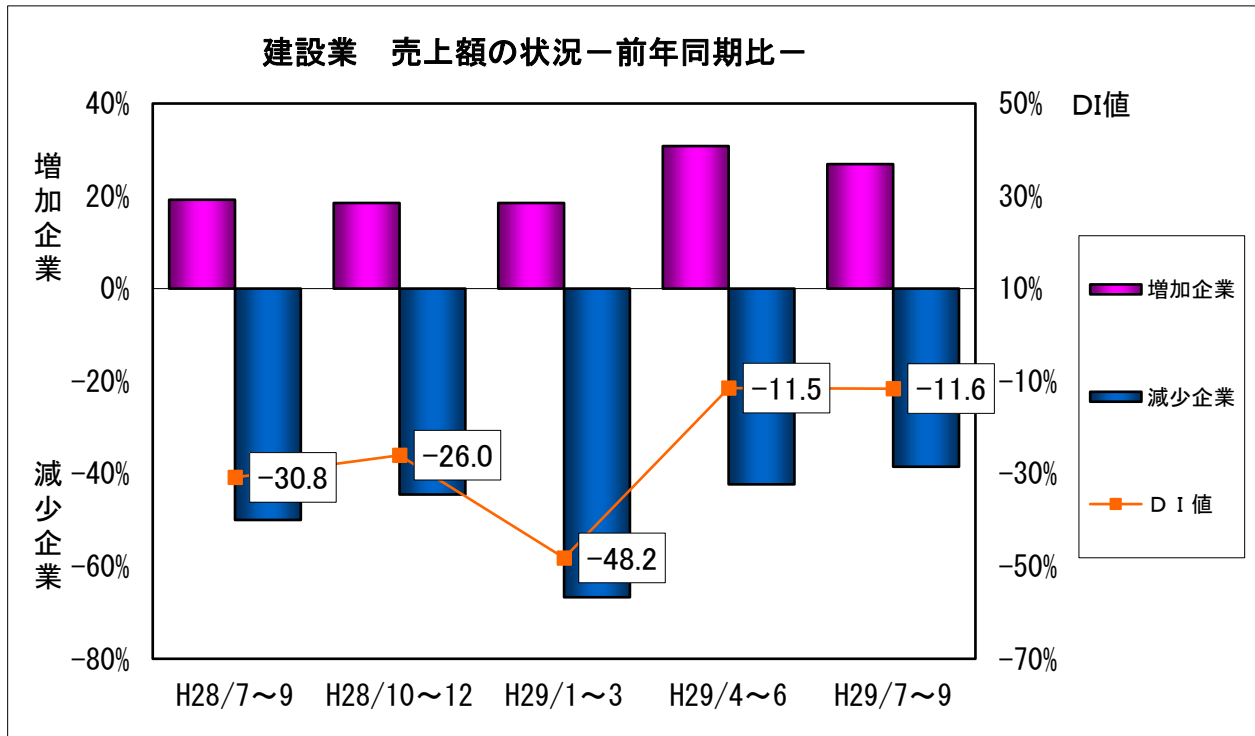
	前々期 (29年1月~3月)	前期(A) (29年4月~6月)	今期(B) (29年7月~9月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲48.2	▲11.5	▲11.5	▲0.1	▲30.8
受注額	▲38.5	▲32.0	4.0	36.0	▲24.0
材料仕入単価	26.9	32.0	28.0	▲4.0	4.0
採算(経常利益)	▲37.0	▲15.4	▲7.7	7.7	▲32.0
資金繰り	▲29.6	▲7.7	▲23.1	▲15.4	▲38.5



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

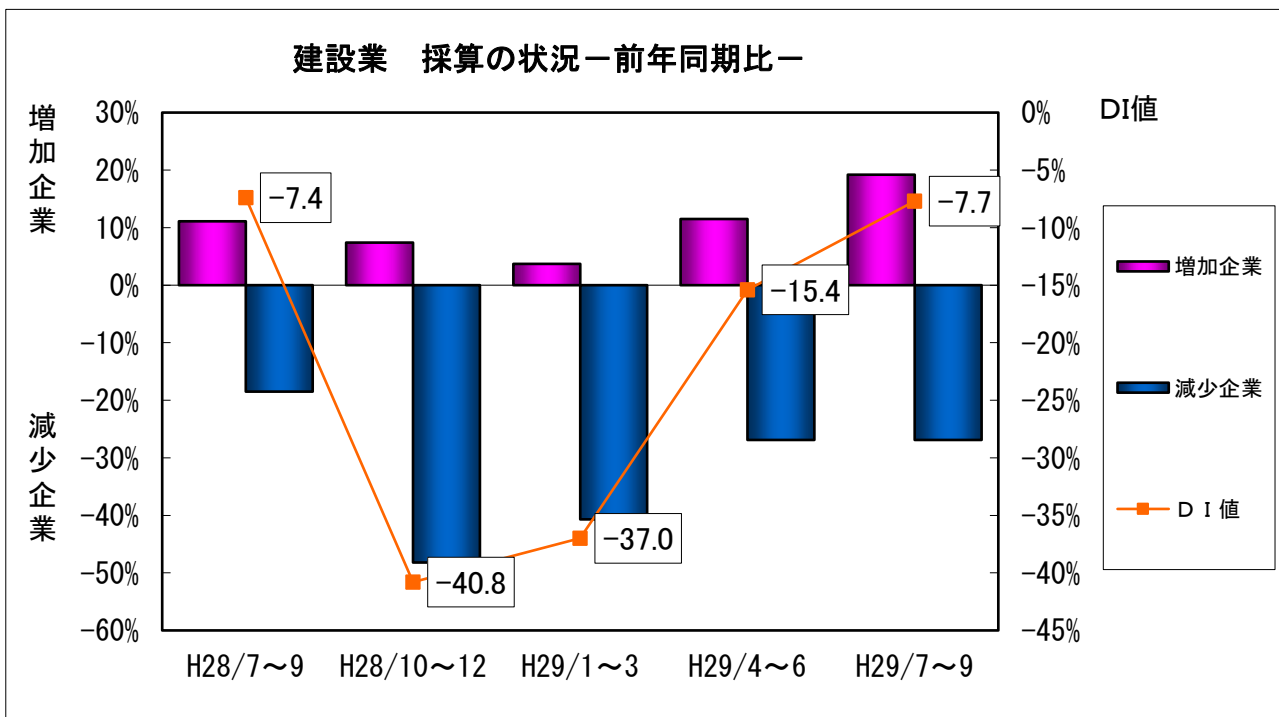
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は▲11.6。前期の▲11.5 から 0.1 ポイントとわずかに下降となっている。来期見通しは▲30.8 と大幅な下降の見込み。



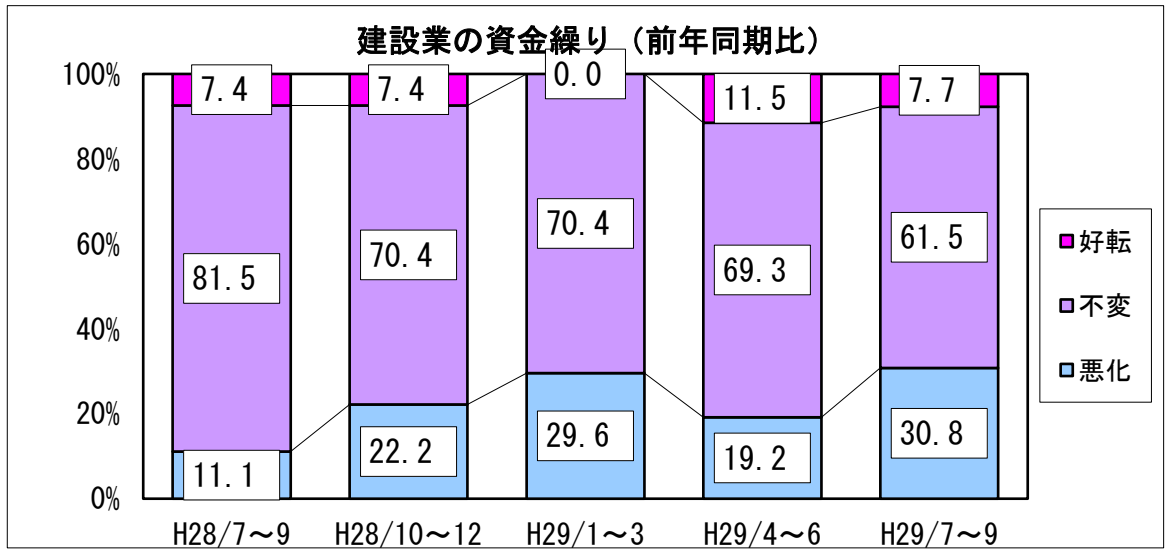
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲7.7。前期の▲15.4 から 7.7 ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲32.0 と大幅に下降の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は▲23.1。前期の▲7.7から15.4ポイント下降した。来期見通しは、▲3.4と改善が見込まれる。

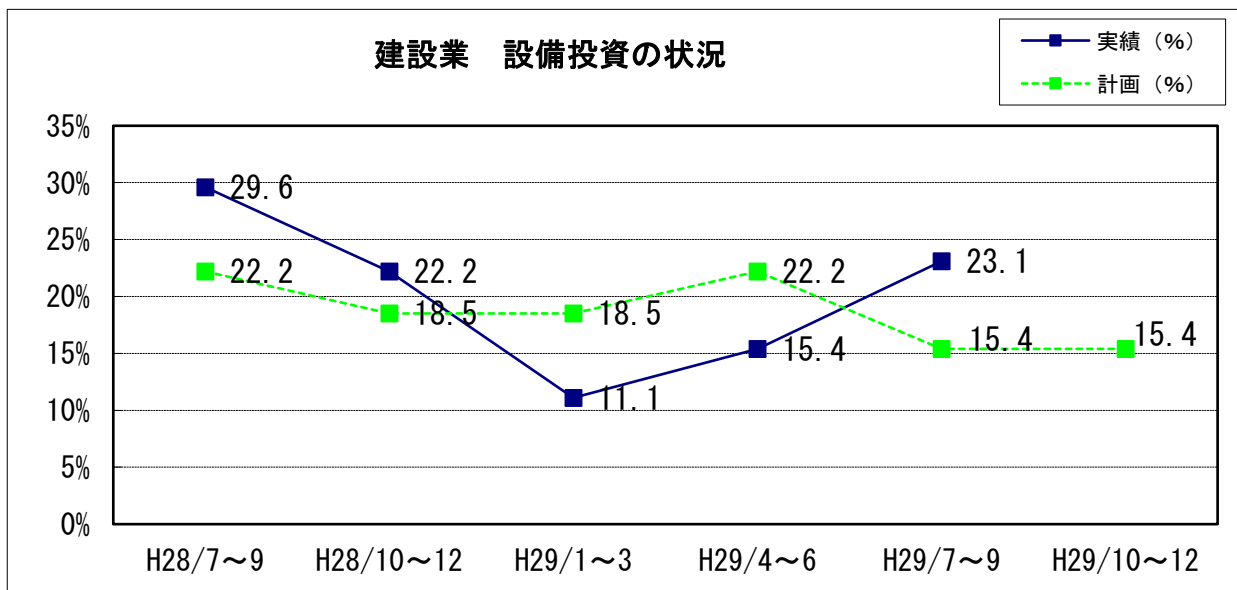


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	4	0	0	1	3	0	2	0	0	22
(%)	15.4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	84.6
今期実施 (実数)	6	0	0	1	4	0	2	0	0	20
(%)	23.1	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	76.9
来期計画 (実数)	4	1	1	2	0	1	0	0	1	22
(%)	15.4	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	84.6

今期設備投資を実施した企業は6社（23.1%）。前期（平成29年4~6月期）の実施企業4社（15.4%）よりわずかに増加。来期は4社（15.4%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 38.1%→今期 31.8%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 23.8%→今期 27.3%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 28.6%→今期 22.7%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 33.3%→今期 22.7%)

となっている。

